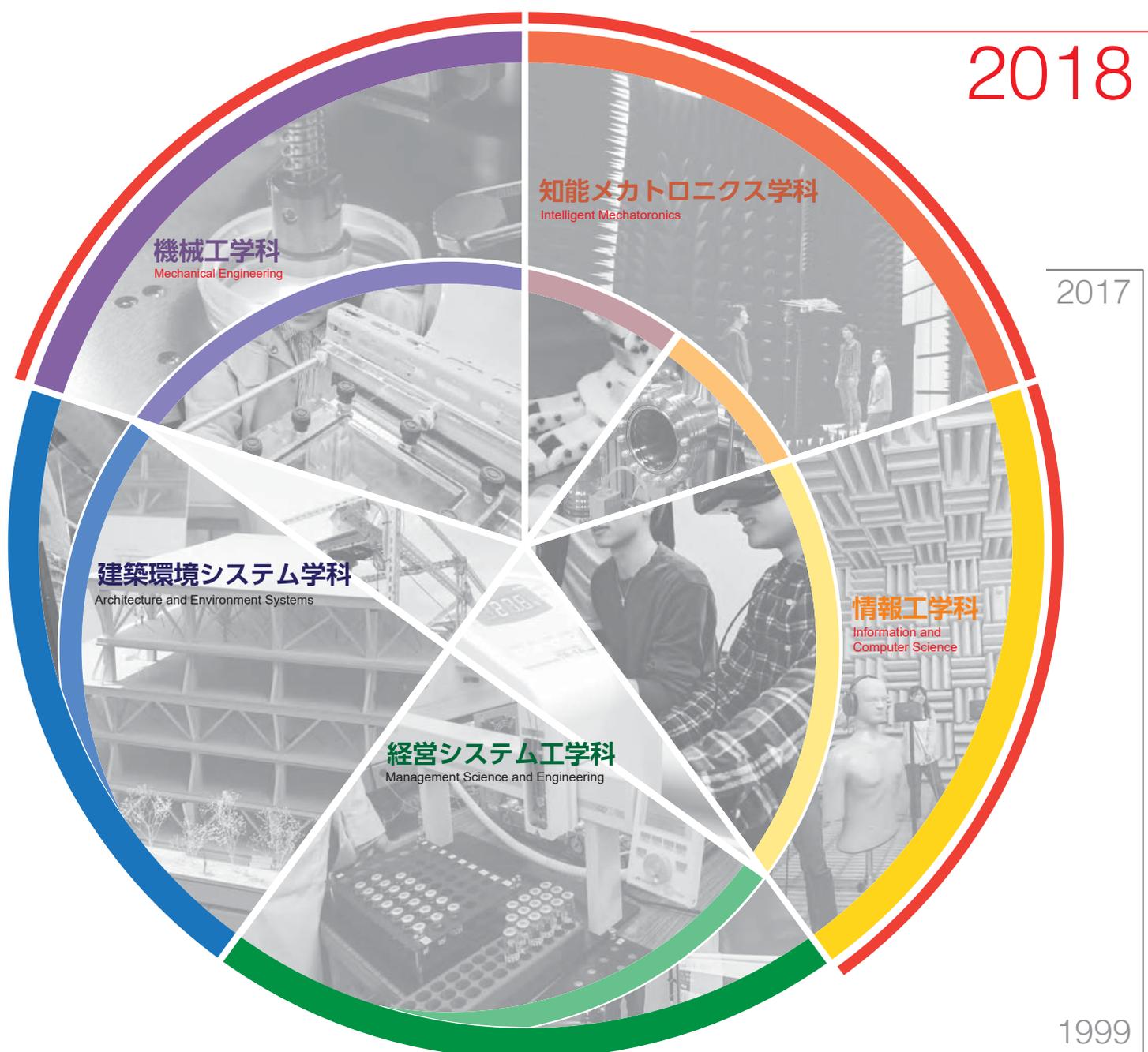


秋田県立大学に

新3学科誕生

<http://www.akita-pu.ac.jp>

システム科学技術学部は5学科になり新たなステージへ

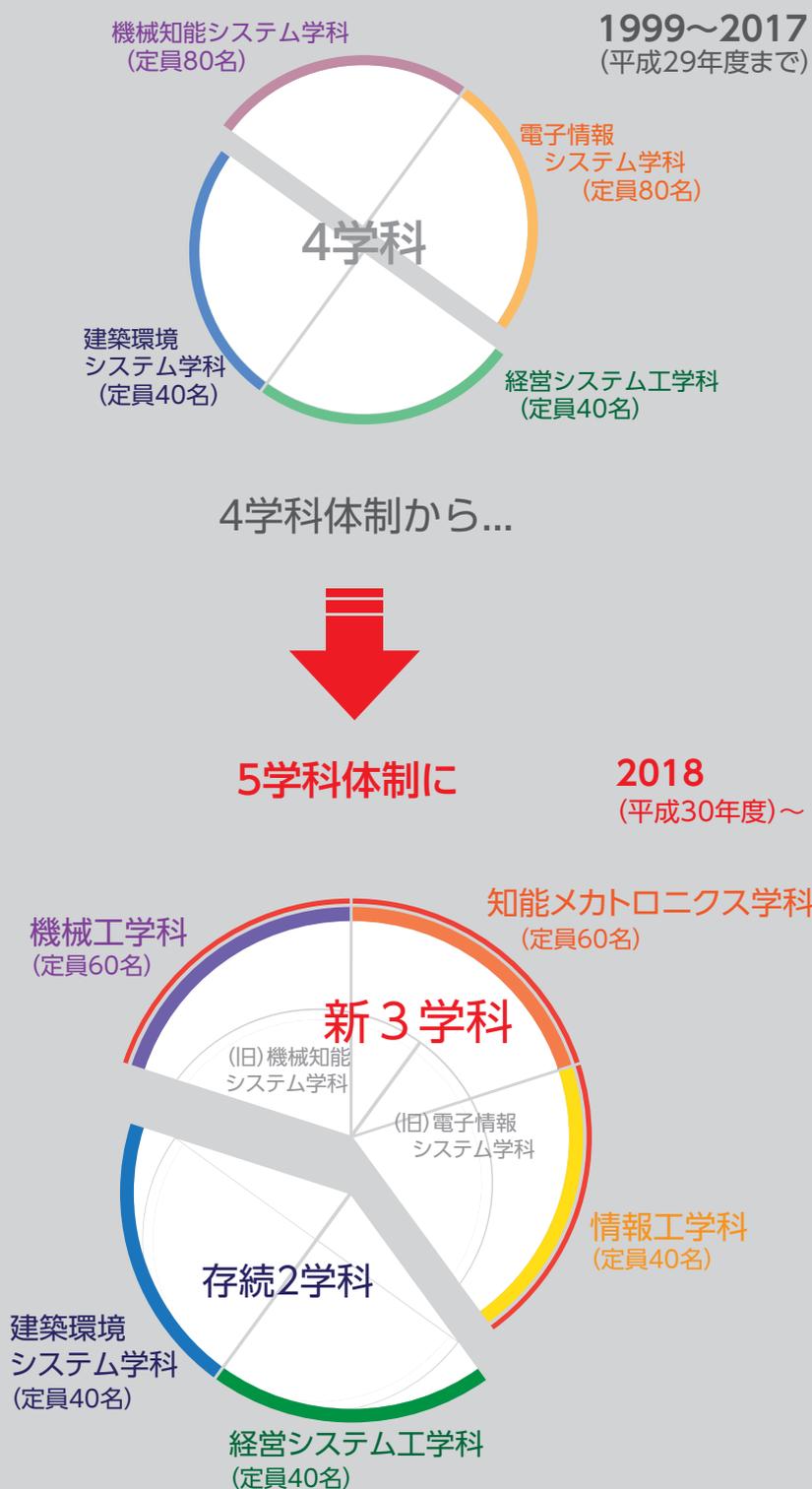


2018年4月、秋田県立大学は学科再編を予定しています。

※文部科学省への設置申請等により内容が変更となる場合があります。



システム科学技術学部再編の概要



システム科学技術学部は、開学以来、従来の工学系教育に欠けがちであった、様々な分野のものづくりの技術の統合的な理解や、さらにはつくられたものが使われる社会環境まで理解した上での専門教育を「システム思考」教育として推進し、企業などから高く評価されてきました。

学部の将来構想においては、こうした学部の特色をさらに深化させるとともに、特に工業分野を中心とする産業構造の変化や、少子高齢化に伴う若者人口の急速な減少問題などを背景として、将来学部から輩出すべき人材像を議論し、「日本の産業構造の変化」、「秋田県の地方創生のための産業振興」に対応できる人材を育成することとしました。

一方、秋田県においては、平成27年10月に人口減少の克服と秋田の創生の実現に向けて「あきた未来総合戦略」を策定し、基本目標のひとつである「産業振興による仕事づくり」の重点プロジェクトとして、「航空機産業の振興と専門人材の育成」、「新エネルギー産業の大規模展開」、「ICT専門人材の育成と高度ICT企業の誘致」等の施策を打ち出しております。

「秋田県の持続的発展に貢献」することを理念とする県立大学においては、こうした県のビジョンに呼応し、地域が必要とする専門人材の育成や若者の県内定着等を促進するため、平成30年度からスタートする大学全体の次期中期計画に先立ち、システム科学技術学部の学科再編に着手し、①制御系に関して機械と電子の両方が分かる人材の輩出、②今後伸びることが予想される社会インフラ系、メカトロニクス系、知的情報産業への人材の輩出を目指すこととしました。



学 長 小間 篤

これからの世界の変化に対応できる人材の育成へ

秋田県立大学は、1999年の創立以来、「次代を担う有為な人材を育成」し、「開かれた大学として、地域の持続的発展に貢献」することを理念として、教育、研究、地域貢献活動に積極的に取り組んできました。その結果、毎年ほぼ100%の就職率を達成し、一般入学試験の倍率も7～9倍を維持するなど、教育上の成果を挙げてきています。

しかしながら今、日本及び世界の産業構造の大きな変化を始めとして、大学を取り巻く社会状況は過去にないほど急激に変化しつつあり、そのような変化に対応すべく、本学の教育カリキュラムを改革することが、必須の課題となってきました。

そこで今回の教育カリキュラムの改革に当たっては、全学部、全学科を対象に、従来のように専門分野の知識、考え方を体系的に教えることにとどまらず、自分たちの学部、学科の卒業生が、卒業後15年後にどのようなところで、どのような活躍をするのかを想定して、それに必要な知識や手法を、どのように教えるかをよく考えて、カリキュラム全体の改革を検討してまいりました。その結果、システム科学技術学部では、一部学科の再編も必要であるとの結論になりました。なお、生物資源科学部の各学科や、システム科学技術学部で今回再編はしない学科のカリキュラムも、上記の視点に立って質的な改訂をしています。



システム科学技術学部
学部長 松本 真一

秋田県の将来ビジョン実現のために

昨今、我が国において顕著となってきた問題のひとつは、言うまでもなく、少子高齢化に伴う若者（労働者）人口の急速な減少です。また、特に工業分野を中心とする日本の産業構造の変化（例えば、安価で高品質な製品の大量生産から高付加価値がある製品の少量特注生産などへのシフト）も劇的で、危機感さえ募るものです。

数年来の「地方創生」政策は、こうした問題への対応の枠組みを示し、地域ごとの施策を促すものであり、秋田県においても将来ビジョンの策定とその展開が進められつつあります。また、行政ばかりでなく、どの大学でも人材養成機関としての対応・対策が迫られています。特に工学部系においては、教育の内容についても見直す必要があるのです。

本学は、建学の理念として「秋田県の持続的発展に貢献する」ことを掲げ、さらに本学部は、「研究開発による地域貢献」と「能力ある技術者養成による地域貢献」を理念として掲げております。したがって、秋田県の将来ビジョンに呼応し、それを秋田県立大学として、さらにはシステム科学技術学部として、これを支える方策を立案し、実行に移すことは重要な使命なのです。

今回の学科再編の目的は、正に「秋田県の将来ビジョンを実現するための体制を強化し、研究・教育システムの再構築を図ること」にあり、20年ないし30年先を見据えた大きな改革です。

関係各位のご理解ご協力、ご支援はもちろん、これから大学を目指そうとする若者たちにも、共感を持って本学部への入学にチャレンジして頂ければ幸いです。



機械工学科(定員60名)

機械知能システム学科の一部から再編されます



地球資源・エネルギーの有効利用による、人と環境に優しい高度機械システム

地球資源・エネルギーの有効活用による、人と環境に優しい高度機械システムに関する教育と研究を行います。教育では、機械工学の基礎をなす材料力学、熱力学、流体力学、機械力学を重視し、ものづくりに必要な知識と技術を修得するための授業を行います。また、プロジェクト型授業などを導入し、“機械屋”としてのセンス・実践力を養います。エネルギーシステム、輸送機械、生産システムを対象に社会での機械と人間の役割・責任分担を理解し、システム思考によって個々の専門分野の有機的結合を行います。そして、問題発見・解決型実践的学習を通して、地域の社会基盤を支える実践的技術者の育成を行います。



カリキュラムの特長

- 4つの力学、製図・実習をはじめとした専門基礎科目の重視
- 実社会で用いられている機械システムを学ぶことによるシステム思考の涵養
- 少人数教育、グループディスカッションによるコミュニケーション能力の涵養
- プロジェクト型授業を通じた実践力と問題発見・解決能力の涵養



講座構成

教育・研究グループ内容(*)

材料構造工学講座

■ 応用材料力学研究グループ

機械や構造物の部品から細胞培養基材までの幅広い材料の強度などの諸特性の解析と評価方法の研究開発、また、成形加工、塑性加工、接合などの技術開発を通じて様々な分野への応用を研究しています。

・複合材料 ・弾性力学

■ 先端材料研究グループ

複合材料、機能性セラミックス、アモルファス金属、準安定結晶などの先端材料を主な対象とし、より優れた機能を有する材料を創製し、その特性を調べ、有効に利用する方法を研究・開発しています。

・先端材料信頼性 ・先端材料創製

熱・流体工学講座

■ 熱科学研究グループ

熱科学を基礎として、社会から要望される「環境」「エネルギー」「安全」の調和した技術開発に貢献することを目的として研究しています。

・熱科学 ・燃焼工学

■ 流体科学フロンティア研究グループ

従来の機械工学的な研究に留まらず、流体問題に関連する最先端の研究分野、例えば環境流体力学や極限流体力学ならびにバイオ流体力学の分野で、学問的に高いレベルの研究を推進しています。

・流体科学機能ジェネレーション ・生命流体力学

設計生産工学講座

■ 応用機械設計研究グループ

機械設計をベースに、人間の生活・環境・産業に寄与するシステムとしてバイオマス、再生可能エネルギー、プラズマ応用に関連するシステムや装置の研究開発に取り組んでいます。

・機械設計 ・高エネルギー密度応用プロセス ・流体力学

■ 先端加工研究グループ

製造技術の根幹をなす機械要素や光電デバイスの精密・微細加工製作方法において、難削材料における切削・研削・研磨の研究に加え、超音波振動や磁場を援用した新しい加工技術の開発も行っています。

・先端加工技術 ・ナノ/マイクロ加工



進路

活躍が期待される分野

- ◎輸送用機器の開発/設計
- ◎電気機器の開発/設計
- ◎熱機器・流体機械の開発/設計
- ◎生産技術/品質管理
- ◎インフラ設備の運転/保守
- ◎セールスエンジニア

想定される就職先

- 【県外】**
TDK(株)
DOWAホールディングス(株)
(株)日立製作所
- 【県内】**
東日本旅客鉄道株秋田支店
(株)スズキ部品秋田

資格等

■取得可能資格

- ◎高等学校教諭一種免許状(工業)

■取得可能受検資格

- ◎一級技術検定
(指導監督の実務経験1年以上を含む3年以上の実務経験)
- ◎二級技術検定
(実務経験1年以上)

※上記資格は全て申請予定です。教員免許については、文部科学省における審査の結果、予定している開設時期が変更になる可能性があります。

*研究グループ名・内容等は変更となる可能性があります。



知能メカトロニクス学科(定員60名)

機械知能システム学科と電子情報システム学科の一部から再編されます



機械工学と電子工学の融合による応用制御システム

産業を支える技術者の実践的教育や制御を基幹技術とする機械・電子・通信などの分野を融合した応用システムに関する教育と研究を行います。機械工学と電気電子工学及び制御工学を中心とした専門科目や、システム思考に基づいてこれらの技術を組み合わせたメカトロニクスに関する科目について、プロジェクト型実習を中心として少人数教育を実施し、産業分野で応用できる問題発見・解決力を備えた人材を育てることを目標にしています。さらに、メカトロニクスに関する技術を体系的に修得できる学習を履修モデルとして提示し、国際化に対応できるコミュニケーション能力を育成します。



カリキュラムの特長

- 人間・機械・環境を融合し、他分野も見据えたシステム思考の習得
- プロジェクト型実習を中心とした少人数教育による実践的技術者の育成
- 最新の研究機器を活用した学生実験や、理解を深めるための演習の実施
- プレゼンテーション・コミュニケーション能力訓練の機会を多数設定

講座構成

教育・研究グループ内容(*)

応用制御システム講座

アンテナ技術, 電磁ノイズ対策, 顕微鏡などの最適制御, プラズマ, モータ

■ 計測通信制御システム研究グループ

電波による無線通信, 多次元システムの制御や応用, 電気と磁気を応用したテーマに関する研究を行っています。

・通信システム工学 ・制御工学 ・応用電磁工学

知能電子材料デバイス講座

LED, 太陽電池, 熱電材料, ミリ波・THz応用技術, 光制御デバイス応答

■ 先進物性デバイス研究グループ

効率の良いLEDや熱から電力への変換, 液晶デバイスの新しい応用開拓に関する研究を行っています。

・電子材料・物性工学 ・光・電子デバイス工学

知能化機械システム講座

機械のはたらきと動きを制御する。

■ ロボット・メカノシステム研究グループ

最先端技術を用いたロボットなどの自律システムに関連するセンサ, 機構, 制御技術の研究を行っています。

・ロボット工学 ・メカノシステム ・モーションコントロール

■ 人間支援メカトロニクス研究グループ

メカトロニクス技術と知能化技術を用いて, 生活のさまざまなシーンにおける人間支援技術の研究開発を行っています。

・生活支援工学 ・人工生体機構 ・脳情報工学

進路

活躍が期待される分野

- ◎制御・計測/メカトロ設計
- ◎生産技術/品質管理
- ◎デバイス開発/設計
- ◎電子/制御システム設計
- ◎情報/通信システム設計
- ◎生産技術/品質管理
- ◎システムエンジニア
- ◎セールスエンジニア

想定される就職先

【県外】

- 東北電力(株)
- セイコーエプソン(株)
- ニプロ(株)

【県内】

- (株)角館芝浦電子
- 秋田エプソン(株)

資格等

■ 取得可能資格

- ◎高等学校教諭一種免許状(工業)

■ 取得可能受検資格

- ◎一級技術検定
(指導監督的実務経験1年以上を含む3年以上の実務経験)
- ◎二級技術検定(実務経験1年以上)

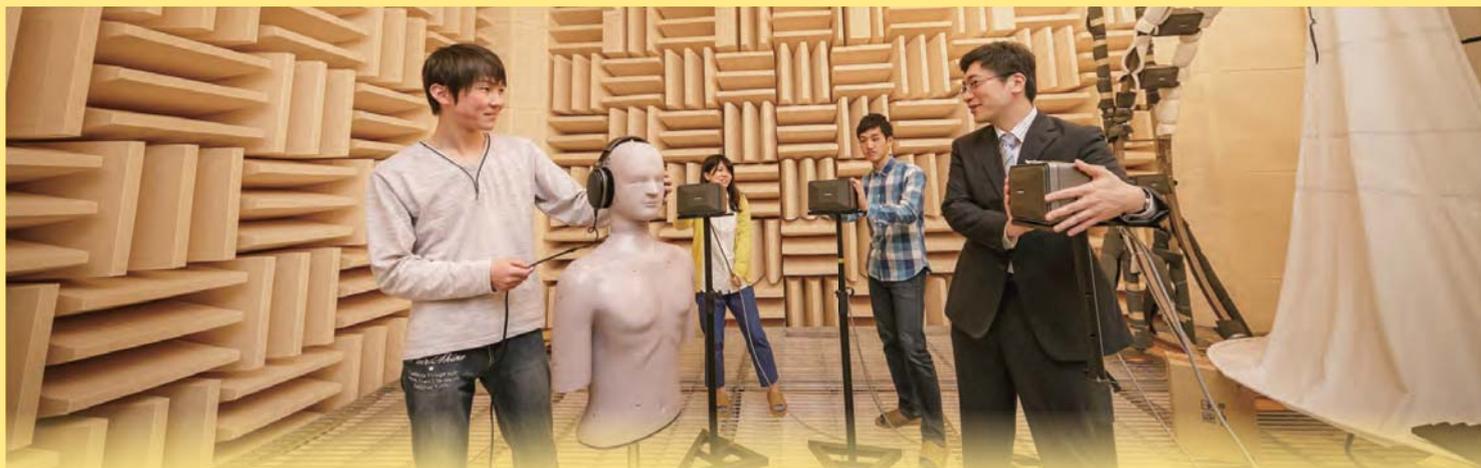
※上記資格は全て申請予定です。教員免許については、文部科学省における審査の結果、予定している開設時期が変更になる可能性があります。

*研究グループ名・内容等は変更となる可能性があります。



情報工学科(定員40名)

電子情報システム学科の一部から再編されます



多種多様で膨大な情報を活用して, 知的な人間支援を実現

情報工学を基盤とし, ネットワーク化された機器・環境から収集される多様で大量なデータを活用し, 賢い生活空間や生産の場を生み出す情報技術により人間支援を実現する情報システムをつくることを目的に学びます。授業では標準的な情報工学の学問を基礎として学びます。さらに, 現実世界の様々な情報を活用した知的な人間支援を実現するために必要となる, メディア情報処理, 知能情報処理, 情報ネットワークシステムに重点を置いたカリキュラムを組んでいます。また, 農業・生活支援・健康・交通・エネルギー等の応用分野にも寄与する社会の幅広いニーズを満たす情報システムを設計・開発・運用できる実践的な人材の育成に力を入れます。



カリキュラムの特長

- 知的な人間支援を実現する情報技術の創出を目指した教育・研究
- メディア・知能情報処理, 情報ネットワークシステムに重点を置いたカリキュラム
- 要素技術を統合し情報システムを設計・開発・運用できる能力の習得
- プロジェクト型実習による実践的な情報技術者の育成

講座構成

教育・研究グループ内容(*)

基礎情報工学講座

■ 情報システム研究グループ

サイバー・フィジカルシステム, 分散情報処理, 知能情報処理, 会話ロボット, シミュレーション, 数値解析, 並列処理

□ 情報ネットワーク

ネットワークとセンサー情報が高度に連携したサイバー・フィジカルシステム実現を目指し, モバイルネットワーク基盤技術と分散情報処理技術に関する研究を行っています。

□ 知能情報処理

言葉, 表情, 動作, 生体信号など様々な情報を介して人間と環境を理解し, 人間を知的に支援する知能情報処理を行っています。特に, 自然言語処理, ヒューマンマシンインタフェース, 会話ロボットに関する研究と生活支援などへの応用に取り組んでいます。

□ ソフトウェア基盤

高速で安全なソフトウェアを開発するための基礎技術として, コンピュータの性能を最大限に引き出すための技術や自然現象の解析のためのコンピュータシミュレーションを研究しています。また新しいアーキテクチャの計算デバイスでの高速計算も研究しています。

人間支援情報工学講座

■ メディア情報処理研究グループ

音響信号処理, 複数感覚による知覚, 音場制御, 仮想現実感, 画像情報処理, 知覚情報処理

□ 知覚情報処理

聴覚のしくみを他の感覚との関連性を含めて解明する「聞こえを探る」研究, その知見に基づいてさまざまな音環境を仮想的に合成する「聞こえを創る」研究, さらにその聞こえを理解した上で「音環境を收音・伝送」するための信号処理技術の研究を行っています。

□ メディア信号処理

静止画や動画などのメディア情報を対象に, 人や物体の特徴を見つける画像認識や, 欠損領域を修復する画像修復について研究を行っています。また, 人の視聴覚がどのように知覚するかを工学の技術を使って解明する研究も行っています。

進路

活躍が期待される分野

- ◎ITソリューション/ITインフラ設計
- ◎映像音響システム設計
- ◎情報/通信システム設計
- ◎組み込みシステム設計
- ◎ソフトウェア開発
- ◎システムエンジニア
- ◎技術コンサルティング

想定される就職先

【県外】

- 富士通(株)
- 三菱電機インフォメーションネットワーク(株)
- 株JVCケンウッド

【県内】

- 株日立超LSIシステムズ秋田営業所
- 北日本コンピュータサービス(株)

資格等

■ 取得可能資格

- ◎高等学校教諭一種免許状(情報)

■ 取得可能受検資格

- ◎一級技術検定
(指導監督の実務経験1年以上を含む3年以上の実務経験)
- ◎二級技術検定(実務経験1年以上)
- ◎工事担任者(ネットワーク接続技術者)
受験科目の一部免除

*上記資格は全て申請予定です。教員免許については, 文部科学省における審査の結果, 予定している開設時期が変更になる可能性があります。

*研究グループ名・内容等は変更となる可能性があります。



建築環境システム学科 (定員40名)

既存学科のまま存続します



住宅から都市環境まで「人間生活の場」の総合デザインを追求する

「建築学」は、多方面の知識・経験・感性などを総動員して「あらゆる分野を統合する工学芸術」である点が際立った特長となっています。ひとつの住宅設計でも、統合すべき対象は、地域・都市としての空間・環境、あるいは地球環境のスケールまで及ぶ場合もあります。優れた建築空間を実現するためには、建築をシステムとして捉え、幅広い視点で総合的に学び、研究しなければなりません。

本学科では「木質構造」などの地域特性に富んだカリキュラムや、即戦力が求められる社会のニーズに応えるためのCAD設計システムなどを加え、新しい時代に対応した総合的な建築教育と研究開発に取り組んでいます。

カリキュラムの特長

- 地域特性を反映した学科目の設置
- 設計教育の重視
 - 系統的、実践的な設計科目
 - 卒業制作と卒業論文の選択制
 - 充実したCADシステムによる教育
- 研究者、デザイナー、エンジニアとして、実践的に活躍している教員陣による指導

講座構成

教育・研究グループ内容(*)

構造学講座	材料学講座
<ul style="list-style-type: none"> ■ 建築構造学研究グループ 地震や台風にも強く安全な建築物実現の研究	<ul style="list-style-type: none"> ■ 建築材料学研究グループ 建築空間に適した材料利用の教育と新材料の開発
環境学講座	計画学講座
<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境計画学研究グループ 健康で快適な生活のための環境デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ■ 建築・都市アメニティ研究グループ 都市・建築空間の計画、設計、快適性の研究

*研究グループ名・内容等は変更となる可能性があります。

進路	資格等
活躍が期待される分野 ◎建築設計(意匠/構造/設備) ◎建築施工管理 ◎建築製品開発/製造 ◎建築行政(公務員) 主な就職先 【県外】清水建設(株)、(株)大林組、大成建設(株)、(株)竹中工務店、新菱冷熱工業(株) 他 【県内】(株)ライフデザイン建築研究所、秋田県庁【建築】 他	<ul style="list-style-type: none"> ■ 取得可能資格 ◎高等学校教諭一種免許状(工業) <ul style="list-style-type: none"> ■ 取得可能受検資格 ◎一級建築士試験(実務経験2年以上) ◎二級建築士試験 ◎木造建築士試験 ◎一級技術検定 (指導監督の実務経験1年以上を含む3年以上の実務経験) ◎二級技術検定(実務経験1年以上)

*詳しい情報はホームページもしくは「入学案内」をご覧ください

カリキュラムの特長

- 企業経営における、情報、生産、販売、財務、組織の管理に関する経営工学手法の修得
- 経営管理や課題発見と問題解決を工学的に行うための数理的解析手法を修得し、社会へ応用する力の養成
- 鳥瞰的視野で人間社会を取り巻く環境・資源や社会・経済を理解し、多角的視点を融合して課題の本質や重要度を明らかにする力の養成
- イノベーションの実現に必要なコミュニケーション力、実行力の養成

講座構成

教育・研究グループ内容(*)

経営管理講座	経営数理講座
<ul style="list-style-type: none"> ■ 経営企画研究グループ 企業経営の基幹となるシステムの研究教育 <ul style="list-style-type: none"> ■ 先端生産マネジメント研究グループ 製造工程において必要な管理技術の研究教育	<ul style="list-style-type: none"> ■ 計画数理研究グループ 計画数学、応用統計、応用数学、数理統計、意思決定、シミュレーション <ul style="list-style-type: none"> ■ 経営データ分析研究グループ 社会科学分析、ビッグデータ、消費者分析、統計分析

社会環境システム講座

- 外部環境評価研究グループ
- 外部環境の状況評価と将来ビジョンの研究、調査や評価が中心
- 環境システムマネジメント研究グループ
- 持続可能な社会の実現に向けて、必要な概念の教育、技術研究、実装

*研究グループ名・内容等は変更となる可能性があります。

進路	資格等
活躍が期待される分野 ◎経営コンサルティング、プロジェクトマネジメント、テクニカルエバンジェリスト、CSR ◎データサイエンティスト、ファイナンシャルプランニング、銀行、証券 ◎生産管理、品質管理、工程管理、環境管理、ロジスティクス ◎マーケティング、商品開発、販売企画、販売データアナリスト 主な就職先 【県外】スズキ(株)、日本たばこ産業(株)、(株)日立ソリューションズ東日本、三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株) 他 【県内】全国農業協同組合連合会 秋田県本部、(株)北都銀行、(株)明和会、(株)秋田銀行、野村證券秋田支店 他	<ul style="list-style-type: none"> ■ 取得可能資格 ◎高等学校教諭一種免許状(工業) <ul style="list-style-type: none"> ■ 取得可能受検資格 ◎甲種危険物取扱者試験

*詳しい情報はホームページもしくは「入学案内」をご覧ください



経営システム工学科 (定員40名)

既存学科のまま存続します



鳥瞰的視野と数理的かつ工学的な経営で地域発のイノベーションを実現

社会の持続的発展につながるイノベーションには、個人や企業と、それを取り巻く自然環境および社会経済環境との間の相互作用についての理解、すなわち鳥瞰的視野からの外部環境の理解が必要不可欠です。

本学科は、このような理解の上に立ち、数理的な手法を用いた経営工学を基礎とするイノベーションを目指し、それを実行できる人材の養成を目的とした教育を行います。このような人材は、モノやサービスすなわち有形無形の価値を創造するさまざまな集団における意思決定とその実行において、中心的な役割を担うことが期待されます。



入試情報(2018[平成30]年入学者対象)

入学定員・募集人員

学科	入学定員	募集人員								
		一般入試		AO入試	推薦入学A	推薦入学B	推薦入学C	特別推薦I	特別推薦II	総計
		前期	後期							
機械工学科(設置構想中)	60	34	10	3	4	4	5	—	—	60
知能メカトロニクス学科(設置構想中)	60	30	14	—	4	2	6	—	4	60
情報工学科(設置構想中)	40	18	10	—	3	2	3	—	4	40
建築環境システム学科	40	20	6	—	2	2	4	6	—	40
経営システム工学科	40	18	6	—	4	4	4	4	—	40
合計	240	120	46	3	17	14	22	10	8	240

入学者選抜概要

入試区分	募集人員	出願(論文等提出)期間	選抜方法	第1次合格者発表	面接試験期日	試験会場	合格者発表	
AO入試	システム科学技術学部 (機械工学科のみ)	3	平成29年 8月16日(水)~8月22日(火) ※土・日を除く	「論文又は作品」 および面接	平成29年 8月31日(木)	平成29年 9月8日(金)	本荘 キャンパス	平成29年 9月20日(水)
入試区分	募集人員	出願(論文等提出)期間	選抜方法	試験日	試験会場	合格者発表		
推薦入学	推薦入学(A・B)	システム科学技術学部	31	平成29年 11月1日(水)~11月7日(火) ※休日、土・日を除く	小論文 および面接	平成29年 11月18日(土)	本荘キャンパス	平成29年 11月25日(土)
	推薦入学(C)	システム科学技術学部	22	平成30年 1月4日(木)~1月10日(水) ※休日、土・日を除く	センター試験 および面接	平成30年 1月27日(土)	本荘キャンパス	平成30年 2月7日(水)
	特別推薦入学(I) (建築環境システム学科・経営システム工学科のみ)	システム科学技術学部	10	平成29年 12月4日(月)~12月15日(金) ※土・日を除く	センター試験 および面接	平成30年 1月26日(金)	秋田市	平成30年 2月7日(水)
	特別推薦入学(II) (知能メカトロニクス学科・情報工学科のみ)	システム科学技術学部	8	平成29年 12月4日(月)~12月15日(金) ※土・日を除く	センター試験 および志望理由書等	—	—	平成30年 2月7日(水)
一般入試	前期日程	システム科学技術学部	120	平成30年 1月22日(月)~1月31日(水) ※土・日を除く	センター試験 および個別学力検査	平成30年 2月25日(日)	本荘キャンパス・さいたま市・ 仙台市・名古屋市	平成30年 3月6日(火)
	後期日程	システム科学技術学部	46	平成30年 1月22日(月)~1月31日(水) ※土・日を除く	センター試験お よび小論文	平成30年 3月12日(月)	本荘キャンパス・さいたま市・ 仙台市・名古屋市	平成30年 3月21日(水)

※いずれも予定です。詳細は平成30年度入学者選抜要項で確認してください。



アクセス

本荘キャンパス

[システム科学技術学部]

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
TEL.0184-27-2000 FAX.0184-27-2180

アクセス ■秋田空港→車(約50分)本荘キャンパス
■JR秋田駅→車(約1時間)本荘キャンパス
■JR秋田駅→羽越本線(約45分)JR羽後本荘駅
→バス(約5分)本荘キャンパス

航空機利用の場合

新千歳空港	約55分	秋田空港
羽田空港	約1時間10分	
中部国際空港	約1時間20分	
伊丹空港	約1時間30分	

秋田新幹線「こまち」利用の場合

盛岡駅	約1時間30分	秋田駅
仙台駅	約2時間30分	
東京駅	約4時間00分	

高速道路利用の場合

盛岡I.C	約2時間10分	大内J.C.T
仙台宮城I.C	約3時間10分	

